

NPO法人びーのびーの2014年度事業報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

第1 1年を振り返って

子ども・子育て支援新制度導入にあたり、日本の子育てに関わる人達の関心と議論が大きく動いた1年でありました。国や横浜での子ども子育て会議をめぐる意見の推移を見ながら、法人としてネットワークとしてパブリックコメントを取りまとめて提出。身近なところで勉強会を行ったり、制度移行への経緯を幼稚園保育園ガイドの編集に特集をするなど、子育て家庭にわかりやすく届けることに企画室事業を通じて注力しました。

利用者支援事業が市内でいよいよ一斉にスタートするにあたり、市域の子育て支援拠点を運営する法人とのネットワーク、よこはま地域子育て支援拠点ネットで自主的なフォーラムを企画運営するなど、横浜市域において、そしてこの港北区においての子育て環境を改めて見据える1年だったと思います。

法人活動としては、今まで自主事業として継続してきた預かり保育まんまーが、(株)いそべ（港北区地域子育て支援拠点どろっぴ（以下、どろっぴ）の大家である磯部氏運営）のたんぼぼ保育園が認可園に移行することで、お借りしていた3歳児保育室をお返しする形で場所を移転、より駅近なマンション2階を保育室に10月から保育をスタートさせました。どろっぴは2期目5ケ年の評価の年となり、公募申請に臨み、次期3期目5年間の運営に繋げることができました。「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」はスタッフの連携を強化させ、地域訪問やプログラムの再考に乗り出しました。また新制度に位置付けられた小規模保育事業「ちいさなたね保育園」を師岡地区に開所しました。法人事務局も制度を把握をしながら入札含めた書類提出に努め、理事会、運営連絡会など円滑な推進をめざし現場の活動支援に全力を挙げて取り組みました。

有償職員（スタッフ）が全保育士資格を有する小規模保育事業の開始によって総勢50名を超える法人となり、それぞれの事業を通じ、法人のミッションの継承を図りながら、人材育成、研修体制の充実や事業間連携についての必要性が認識できた1年でもありました。

第2 事業内容

1. 子育て支援施設の運営

① 「おやこの広場びーのびーの（菊名ひろば）」

（横浜市子ども青少年局委託事業 親と子のつどいの広場事業）

（1）基本データ

① 対象	主に0歳から3歳までの未就学児とその保護者
② 実施場所	横浜市港北区篠原北1-2-18
③ 開催日時	月曜～金曜 9時30分～16時 第3水曜 12時～16時
④ 年間利用者総数	6038人
⑤ 1日あたりの平均利用者数	25,7人
⑥ 事業概要	・子育て親子の交流、集いの場の提供 ・子育てに関する相談の実施 ・地域子育て関連情報の収集及び提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施 ・一時預かりの実施

（2）1年間の報告

- ・親子にとって自由な交流の場となるよう、また子どもは子どもらしく成長できるよう、ひろばに集うみんなで見守り、育ちあえる場となるように心がけた。
- ・「親子が安心して来れるひろば」となるように、親子ボランティア、利用者と共に「ひろばの方向性や大切にしたいこと」を話し合い、9月に利用者アンケートを実施、結果をもとにひろばについて見つめなおす一年となった。
- ・スタッフは個々の親子に寄り添い、それぞれの家庭が必要としている支援をすることで親も子どもも自由に過ごせる居場所を得、子育てが楽になるようサポートすることを心がけた。
- ・地域担当者がサロンやケアプラに積極的に足を運ぶことで地域の親子はもとより、児童委員や民生委員とのつながりを今まで以上に強化することができた。
- ・ひろばの一時預かりの特徴をいかし、預かり中の子どもを利用者と共にみんなで見守った。予約時間が重なる日はボランティアとも連携をし、できるだけ希望に応えられるよう努めた。

② 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ

(港北区地域子育て支援拠点委託事業)

(1) 基本データ

① 対象	主に0歳から3歳までの未就学児とその保護者
② 実施場所	横浜市港北区大倉山3-57-3
③ 開催日時	火曜～土曜 9時30分～16時
④ 年間利用者総数	31,019人
⑤ 1日あたりの平均利用者数	126.6人
⑥ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の居場所 ・情報収集、提供 ・ネットワーク ・子育て相談 ・人材育成 ・子育てサポートシステム

(2) 1年間の報告

どろっぴ利用者はほぼ昨年度と同様の推移である。子育て家庭の利用だけでなく10年経った地域の拠点としてより多様な人の訪問、協力支援も頂けるようになり子育て家庭をまん中に応援の輪が広がっていった。子育て応援缶バッジの作成普及や『小さな太陽』スライドショーの拠点ネットワークでの開催、5か年の評価と選定に臨み、無事次期5か年の運営に繋ぐことができた。

1) 親子の居場所

積極的な自主活動の中で「BOSA | くらぶ」が生まれ毎月の訓練含め災害時の対策が提案型で始まった。夏場を中心とした入館制限から外遊びを積極的薦めるなどひろば内外の環境設定を見直すなど改善志向で活動。ひろばサポーター制も定着しスタッフの重層的支援がなされた。赤ちゃんプログラムやNPなどの事後活動グループも盛んで親たちの主体性が根付いてきていることを実感。

2) 情報収集・提供

港北子育て応援マガジココメールおよび子育て支援者メーリングリストの充実化が図られた。拠点ネットワークぎゅっとの区庁内健診会場での掲示による広報ツールの作成に着手。

3) ネットワーク

数年来継続してきている障がい児グループ支援の機関連携ネットワークが確立できた。子連れおでかけマップBマップーについても13地区で完成。地元大倉山地区でも改訂に入った。地元宮前町会や大倉山連合町会のみならず、地区ごとに顔の見える関係性が構築できてきた。

4) 子育て相談

予約による相談も増え、個別相談枠はほぼ毎回がいっぱいになっている。ひろばスタッフとの連携も欠かせず、双方で家庭に伴走していく体制ができたり、予防型プログラムの企画運営については3月に発達心理学会に相談の心理職の先生方と参画し、総まとめとして発表することができた。

5) 人材育成

おんぶにだっこの保育者スタッフ登録も年々増え(3月末現在:103人)、ひろばや親子ボランティアからのステップアップの母体と成長している。ボラリーグを通じ夏春の季節の学生ボランティア活動や保育所との連携によって子どもの育ちに関心を持ってもらう仕掛けを行った。

6) 子育てサポートシステム

26年度末の港北区会員数は1598名。全市内の約15%を港北区が占めた。提供・両方会員は新規に77名登録した。入会説明会を週に1回少人数制で行い、より丁寧な説明を心掛けた。説明会参加者にリフレッシュ利用についてのアンケートを行い、検証すると同時に利用推進に努めた。配慮の必要な方や緊急時は個別で対応した。出張説明会は、地区センターや自治会館、つどいのひろばなどで合計11回実施。会員相互の交流会は2回実施し、延べ46名の人に参加した。通信は2回発刊した。他機関への視察見学を行い、コーディネーターのスキルアップを図ると共に現状のシステムについて考察した。

2. 子育て支援に関する事業

① 預かり保育「まんまーる」

(1) 基本データ

① 対象	おおむね2～3歳（火～金：各8名 一時預かり：各日2名）
② 実施場所	港北区大倉山3-3-3 磯部マンション205（2014.10に移転）
③ 開催日時	火曜日～金曜日 9：30～13：00
④ 利用者数（年間登録総数）	グループ保育：32名 一時預かり：登録者12名

(2) 1年間の報告

毎週同じメンバー・スタッフでのグループ保育。子ども同士のかかわりを大切に見守りつつ、近隣の豊かな環境を活用しながら、自然を感じることでできる遊びを展開。大倉山駅近くに移転したことで、商店街とのかかわりが出来たり、新たな遊び場も増えた。

保護者支援の視点を大切に捉えて保護者同士が支え合えるようサポートしつつ、びーのびーのの事業として菊名ひろば・どろっぷと情報を共有することを大切にしながら、親子と向き合っている。

2名の新しいスタッフを迎えて、7名体制でスタートした2年目。9月末にたんぼぼ保育園隣接の保育室から、大倉山駅近くのマンションに移転。10月には火曜日から金曜日の4コースは、全て定員に達することができた。一時預かり利用は月平均7名、延長保育利用は月平均11名と、利用者の需要に応えることが出来た。新しい保育室はとても家庭的な雰囲気を使い勝手がよく、子どもたちはすぐに馴染み保護者から好評だった。

スタッフそれぞれの保育に対する意欲が増してきているので、今後より質の高い保育を目指して、保育観の共有と共に研修等も積み重ねていきたい。

3. 子育てに関する地域の情報発信

(1) 基本データ

① 対象	子育て世帯
② 実施場所	横浜市港北区大倉山5-40-3 大倉山壱番館207
③ 業務時間	月曜～金曜 9：00～17：00

(2) 1年間の報告

① 出版・制作・企画事業

1) びーのびーの幼稚園・保育園ガイド」の発行事業（年1回）

幼稚園・保育園ガイドの発行を通し、拠点との連携で新しいメンバーを増やし、当事者の目線としての内容、法人として発信すべき内容を再確認した。子ども・子育て支援新制度の情報をできるだけ取り入れ、将来的な情報提供にも応えられる内容とした。

2) 制作

各種制作、イベント協力を進めながら協働の新しいつながりをつくり、横浜市幼稚園協会都筑支部に続き港北支部との連携を強くし、様々な情報発信に繋げることができた。

また、ちいさなたね保育園開設にあたり様々なフォローをした。

3) 書籍販売

子育てに関する書籍を選定、イベント時などに適切な冊数を販売することができた。

4) びーのびーの通信

- ・2014年度も遅延することなく年間10回の発行が出来た。
- ・広告は新規の広告主が2件あったが、4回(4月、11月、12月、3月)ほど1枠しか広告が取れなかった月があった。年度後半に厳しい状況になっている。
- ・ちいさなたね保育園開設に伴い1P上部にロゴを追加。3Pひろば案内の欄に一時預かりの曜日・時間の変更を追記した。4Pに事業内容を追記した。まんまーるの事業内容も追記。
- ・2月の全体会の際に、広報紙についての皆様からご意見をいただいた。テーマやレイアウトなど多岐にわたり、レイアウトを中心に順次変更中。

② インターネット事業

1) 港北区子育て応援マップココマップ（ウェブサイトの編集・制作・運営）

特集記事などで、編集メンバーの意見をより多く取り入れ記事作りへの参加を呼びかけた。施設見学や訪問記事の企画を取り入れることができた。ココマップ紙版発行に向けて特別編集会議を行い、予定通り発行することができた。

2) トレッサ横浜HP内「とれおんパーク」ブログ記事制作 トレッサ横浜委託事業

ブログから発展したベント企画を通して地域の親子に情報提供の場を持つことができ、同時にアクセス数にも繋げることができた。

③ 事務請負・コンサルティング事業

1) 子育てタクシー

子育てサポートシステム事業との連携を通して、より多くの子育て家庭に広報することができた。需要の広がりに向けてタクシー会社との連携強化を考えたい。

2) 子どもと保育総合研究所事務局

研究所の夏季大会、冬季セミナーの事務局としての役割りを適切にこなし、報告書などにおいてより深く作業に関わることができた。

4. 子育てに関するセミナー・イベント・調査等の企画実施

(1) 1年間の報告

① 菊名 WARA・びー実行委員会

8月20日(水)大豆戸菊名打ち水大作戦に参加。当日は天候に恵まれ、小学生を中心に約200人が参加。終了後は、太鼓演奏を楽しみ、町内会館で「やさしい環境」の話を聞くなど夏の風物詩となっている。

② 絵本の会

菊名ひろばでのおはなし会（隔月1回）を活動の中心に、絵本の入れ替え(年2回)、菊名バザーでのおはなし会(年2回)、港北図書館おはなし大会参加（年2回）、通信での絵本紹介執筆を行った。

③ ひろば人事業

35組100名の参加があった。びーのびーのが運営する2か所の施設見学、説明だけでなく、実際の地域子育て支援活動の実務体験の場を提供した。

5. 上記の事業を行うために必要な一切の活動

(1) 1年間の報告

① インターン制度

ボラリーグ★こうほく事業を中心に、イベント開催、学生ボランティア説明会開催等の活動やNPO法人アクションサポート横浜等で法人紹介のプレゼンテーションを行った。

日常のひろばの中での親子との関わりを大切にしながら活動、卒業時には卒論発表も行った。

② 法人事務局

1) 小規模保育事業の立ち上げおよび定款変更等各申請と契約

2) 運営連絡会等の開催、会員管理、ひろば人事業および視察見学対応

3) 公認会計士および社会保険労務士との事務遂行業務